

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおり、649億3,322万5千円で、前年度の725億3,047万3千円に比べ、75億9,724万8千円、10.5%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位:千円、%)

会 計 名	平成15年度 当初予算額 (A)	平成14年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	23,019,087	23,857,164	△838,077	△3.5
水 道 事 業	25,773,267	26,440,772	△667,505	△2.5
工業用水道事業	11,575,764	14,199,188	△2,623,424	△18.5
電 気 事 業	4,565,107	8,033,349	△3,468,242	△43.2
合 計	64,933,225	72,530,473	△7,597,248	△10.5

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

平成14年度に策定した第2次三重県病院事業経営健全化計画を着実に実践することにより、県立病院の基本理念を追求し、経営の健全化を定着させ、県立病院としての役割を果たします。このため、平成14年度から導入した機能の健全化・収支の健全化・自立の健全化が着実に達成できる新しいマネジメントシステム（バランス・スコア・カード）の定着を図り、経営方針の徹底、全職員参画型の経営を推進します。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 1,286床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	429,287人	1,173人
外来患者数	505,741人	2,056人

イ. 収益的収支 収入 19,508,722千円 資本的収支 収入 1,073,566千円
支出 19,409,480千円 支出 3,609,607千円

平成15年度の主要事業としましては、平成16年度からの県立病院中期経営計画の策定、志摩病

院外来棟建替整備を行います。

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益157億9,245万7千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益37億1,626万5千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費100億6,922万4千円、薬品費などの材料費38億2,705万1千円、事業運営経費26億4,682万2千円、施設・器械備品などの減価償却費16億7,742万3千円等の医業費用183億3,207万2千円と、支払利息などの医業外費用10億7,740万8千円です。以上の結果、収支差引で、9,924万2千円の当期純利益を計上しております。

次に、資本的収入は、県費負担金6億1,956万6千円、企業債4億5,400万円です。

一方、資本的支出は、志摩病院外来棟整備のための調査委託費、各病院の空調設備等改修のための病院増改築工事費で3億1,331万1千円、各病院の医療機器購入など資産購入費3億6,694万4千円、企業債償還金9億2,935万2千円、長期借入金償還金20億円です。

(2) 水道事業会計

水道事業は、津市、久居市を含む2市7町1村を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市6町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量137,700m³）、伊勢市、松阪市及び鳥羽市を含む3市12町1村を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量169,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

また、北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を、また、伊賀地域の水需要の伸びに対応するため、川上ダムを水源とした伊賀広域水道建設事業をそれぞれ実施します。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 78,967,852m³

1日平均給水量 214,587m³

イ. 収益的収支	収入	13,402,908千円	資本的収支	収入	5,851,806千円
	支出	12,459,898千円		支出	13,313,369千円

収益的収入は、給水収益124億9,422万円とその他営業収益を合わせた営業収益124億9,934万円、及び一般会計補助金8億6,771万3千円等の営業外収益9億356万8千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用84億9,711万3千円と支払利息等の営業外費用39億6,078万5千円が主なものです。以上の結果、収支差引、9億4,301万円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、北勢広域水道拡張事業等に充当する企業債32億4,100万円や一般会計出資金21億1,120万2千円及び国庫補助金3億9,309万円が主なものです。

資本的支出は、北勢広域水道拡張事業等の建設改良費31億2,351万1千円と企業債等の償還金101億8,985万8千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業、伊賀広域水道建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H15	748,672	748,672	既設水道事業の設備改良
北勢水道改良事業	H15	565,000	565,000	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～19	37,410,000	511,000	目標日量47,600m ³
伊賀広域水道建設事業	H10～16	36,100,000	866,000	目標日量48,500m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県下の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等の既存施設の計画的な改良工事を実施します。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 86社
- (イ) 年間総給水量 237,046,060m³
- 1日平均給水量 647,666m³

イ. 収益的収支 収入 6,883,797千円 資本的収支 収入 3,620,995千円
支出 6,158,894千円 支出 5,416,870千円

収益的収入は、給水収益63億3,468万6千円とその他営業収益を合わせた営業収益68億8,006万円及び受取利息等の営業外収益373万7千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用49億7,119万4千円と支払利息等の営業外費用11億8,570万円が主なものです。以上の結果、収支差引7億2,490万3千円の利益を計上し

ました。

次に資本的収入は、北伊勢工業用水道改良事業等に充当する企業債16億9,000万円や一般会計出資金16億5,629万5千円及び国庫補助金2億7,470万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費31億1,234万4千円と企業債等の償還金23億452万6千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H15	172,252	172,252	既設工業用水道事業の設備改良
北伊勢工業用水道改良事業	H15	1,997,214	1,997,214	既設工業用水道の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において発電を行っています。また、未利用の廃棄物エネルギーの高効率なサーマルリサイクルを実現するためのモデル事業として、多度町に「三重県ごみ固形燃料発電所」を建設し平成14年12月から稼働しています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 339,777,000kWh

イ. 収益的収支	収入	3,735,695千円	資本的収支	収入	104,557千円
	支出	3,483,353千円		支出	1,081,754千円

収益的収入は、電力料29億7072万6千円等の営業収益29億7,322万6千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益7億4,479万6千円及び受取利息等の営業外収益1,767万3千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用22億1,905万3千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用7億4,009万9千円及び支払利息等の営業外費用5億2,220万1千円が主なものです。

以上の結果、収支差引2億5,234万2千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、宮川ダム維持放流設備建設事業等に充当する国庫補助金1,689万7千円と長期貸付金償還金8,766万円です。

資本的支出は、三瀬谷発電所改良事業等の建設改良費4億2,318万1千円、企業債の償還金5億

5,857万3千円が主なものです。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業のほか、宮川ダム維持放流設備建設事業及び川上発電所建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第三発電所改良事業	H15	83,133	83,133	既設発電所の設備改良
三瀬谷発電所改良事業	H15	251,719	251,719	〃
宮川ダム維持放流設備建設事業	H15	51,799	51,799	最大出力約180kW
川上発電所建設事業	H11～16	1,678,000	10,540	最大出力約1,200kW

一口メモ

- 収益的収支… 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支… 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。